

宮崎ワシントニアパーム維持管理検討会 第2回検討会

日 時：平成28年2月4日（木）13：30～15：30

場 所：国土交通省 宮崎河川国道事務所 本館1階会議室

会 議 次 第

1 開会

2 挨拶

3 議 事

- ・ワシントニアパーム更新（植替え）計画策定の目的
- ・更新（植替え）計画の基本的な考え方
- ・更新（植替え）パターン
- ・苗木の調達方法
- ・今後のスケジュール

4 閉 会

■第2回宮崎ワシントンニアパーム維持管理検討会 出席者名簿

	役 職		名 前	備 考
委員長	一般財団法人 日本造園修景協会	宮崎支部長	北川 義男	
委員	南九州大学 環境園芸学部	教授	関面 剛康	
委員	宮崎大学 工学部	教授	出口 近士	
委員	福岡大学 工学部	教授	柴田 久	
委員	一般財団法人 みやざき公園協会	理事長	吉田 晋弥	
委員	一般社団法人 日本樹木医会宮崎県支部	事務局長	服部 雅樹	
委員	道守みやざき会議	事務局長	石田達也	
委員	日南海岸きらめきライン	事務局代表	谷越 衣久子	
委員	橘通フラワーロード推進協議会	代表	日高 晃	
委員	地域交流誌「みちくさ」	編集長	福永 栄子	
委員	公益社団法人宮崎市観光協会	専務理事	高島 弘行	
委員	宮崎日日新聞社 論説委員会	副委員長	西山 昌彦	
委員	宮崎県 県土整備部 道路保全課	課長	馴松 義昭	
委員	宮崎市 都市整備部	部長	末益 大嗣	
委員	宮崎河川国道事務所	事務所長	竹林 秀基	
(事務局)				
	宮崎河川国道事務所	副所長	沓掛 孝	
	宮崎河川国道事務所	総括保全対策官	植田 定	
	宮崎河川国道事務所 道路管理第二課	課長	河野 勝仁	
	宮崎河川国道事務所 道路管理第二課	建設専門官	中渡瀬 亮児	

宮崎ワシントンアパーム維持管理検討会



平成28年2月4日

【目次】

1. ワシントンニアパーム更新計画策定の目的	2～3 P
2. 更新（植替え）計画の基本的な考え方	4～5 P
3. 更新パターン	6～24 P
3.1 更新パターンの基本的考え方と検討フロー	6～7 P
3.2 周辺景観を考慮した区間の区分	8～13 P
3.3 I 期更新区間の特徴と更新パターンの検討	14～18 P
3.4 アンケートに係る検討	19～22 P
3.5 土壌改良範囲の検証	23～24 P
4. 苗木の調達方法	25～26 P
5. 今後のスケジュール	27 P

1. ワシントニアパーム更新計画策定の目的

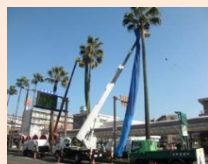
(1) 計画的な更新の必要性について

①安全管理面

- ・枯れ枝等の落下事故防止の為、高所作業車による対策を定期的を実施。
高所作業車が1車線の規制幅の中で剪定作業可能な高さは32mまで。
- ・現在の樹高は最も高いもので21.3m。
ワシントニアパームの成長が進むにつれ、作業の困難さが増大。



枯れ枝の落下による
通行車両への損傷の例



枯れ枝落下防止作業の状況
(1車線規制で32mまで)

32
m

(樹高32m－植栽時4m)

÷ 年最大成長量0.4m

≒ 植栽後 **およそ70 年が限界**

②生態面

- ・ワシントニアパームの寿命は60年～100年と幅広く、枯れて倒れる前の更新を考え、約80年を樹齢と想定。
植栽時の樹齢が約15年のため、植栽後、約65年が限界(樹齢)と想定。
- ・古いものはS42頃に植栽され、植栽後約50年が経過。(196本)。このままにしておくと一斉に寿命を迎える。

※専門書ではワシントニアパームの寿命は不明で、類似樹種のオキナヤシの寿命は60年と記載。
樹齢100年(樹高約35m)になった事例もある。



立ち枯れの例

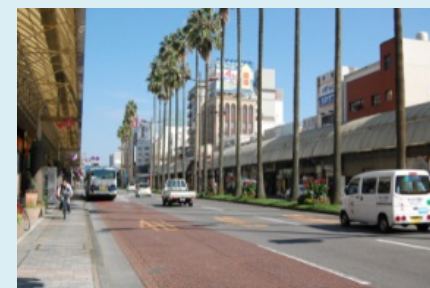


台風による倒木の例

植栽後 **およそ65 年が限界**

③景観面

- ・ワシントニアパームの景観的特徴として「高さ」「姿」が挙げられ、その「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」が道路景観を印象的にしている。



橋通西3丁目付近



南方付近

- ・このまま現在の管理を続けた場合、いずれ1車線規制での管理ができなくなるとともに倒木リスクも高くなる。
- ・一方、更新計画がないまま限界に達したパームから更新(植え替え)を行った場合、更新箇所がまばらになり、パームの特徴である「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」が失われ地域資源の喪失につながる。

そのため、「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」を維持しつつ、**計画的な更新(植え替え)が必要**

(2)維持管理方針の策定

○計画的な更新に向け、平成24年度「国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会」において、『維持管理方針』が策定された。

< 維持管理方針 >

1. ワシントニアパームのある景観を残す。
2. 概ね30～60年サイクルで新しいワシントニアパーム(若い木)に順次植え替えて、持続可能な管理を行っていく。

(3)維持管理方針に基づく更新計画の策定

平成24年度の『維持管理方針』を踏まえ、

- ①ワシントニアパームのある道路景観を維持しつつ、
②地域資源としてのワシントニアパーム並木を次世代へつなぎ、地域の活性化に貢献することを目的に、持続可能な更新（植替え）計画を策定する。

【主な検討項目】

- ・更新（植替え）の順序の検討
- ・更新（植替え）パターンの検討
- ・苗木の調達方法の検討
- ・地域との協働による更新（植替え）方法の検討
- ・既存木の活用方法の検討



更新（植替え）計画の策定

2. 更新(植替え)計画の基本的な考え方

第1回検討会意見概要	基本的な考え方
(1) 更新(植替え)パターン	
○周辺景観を考慮した更新パターンの検討が必要。 ○橘通りは人通りが多く重要な区間。違う方法を検討。(統一感、シンボルロード等) ○景観的価値の維持や地元意向を尊重した更新が必要 ○1本置きパターンでは土壌改良が一部となり、土壌改良範囲の検証が必要。	●周辺景観から区間分けを行い、区間毎の特徴を踏まえ更新パターンの検討を行う。 橘通りは歩行者からの視点も考慮し検討。 ●I期更新区間の更新パターンは、アンケートにより地元意向を把握したうえで決定する。 II期更新区間以降は、I期更新区間の更新工事の検証結果を反映する等、段階的に検討。 また、土壌改良の必要範囲も併せて検証する。
○コスト面から、植栽間隔の見直しの検討が必要。	●景観的価値の維持を考慮し、現在の植栽間隔とする。
(2) 更新(植替え)の順序	
○橘通りは注目度が高いため、一の鳥居交差点から南へ順番に進めることが妥当。 ○更新(植替え)パターンと関連するので、併せた議論が必要。	●当面は、一の鳥居交差点側から南に順番に進める。 ●更新パターンに併せて、見直しを行う。

第1回検討会意見概要	基本的な考え方
(3) 苗木の調達方法	
○苗木は基本的に育苗で調達し、樹高4mに成長するまでの約15年間は市場調達する方針です承。	●圃場育苗調達を基本とするが、当面(15年間)は市場調達を行う。 今回、苗場圃場の計画(案)を検討。
(4) 既存木の活用	
○既存木の活用方法を検討すべき(修景を必要とする箇所への移植等)。	●既存木は単に廃棄せず、活用方法を検討。 関係機関に移植箇所(修景箇所)を確認し、移植に関する調整を行う。
(5) 樹種に関する意見	
○植栽スペースを勘案すると葉が大きくなり掌状葉のヤシが適している。 ○高さの維持を考慮するとワシントニアパームが最適。	●ワシントニアパームで検討を進める。
(6) その他意見	
○ロボットアーム等での維持管理作業の可能性を検討してはどうか。	●使用機械の実績を確認する。

3. 更新パターン

3.1. 更新パターンの基本的考え方と検討フロー

〈第1回検討会意見を踏まえた「更新パターン検討の基本的考え方」〉

- 周辺景観から区間分けを行い、区間毎の特徴を踏まえ更新パターンの検討を行う。
橋通りは歩行者からの視点も考慮し検討。
- I 期更新区間の更新パターンは、アンケートにより地元意向を把握したうえで決定する。
II 期更新区間以降は、I 期更新区間の更新工事の検証結果を反映する等、段階的に検討。
また、土壌改良の必要範囲も併せて検証する。

現況の周辺景観に基づく区間分け

各区間の特徴整理

I 期更新区間の更新パターンの検討

- 更新パターン(景観面)に関する市民アンケートを実施。
- アンケート結果を踏まえ、更新パターン決定。

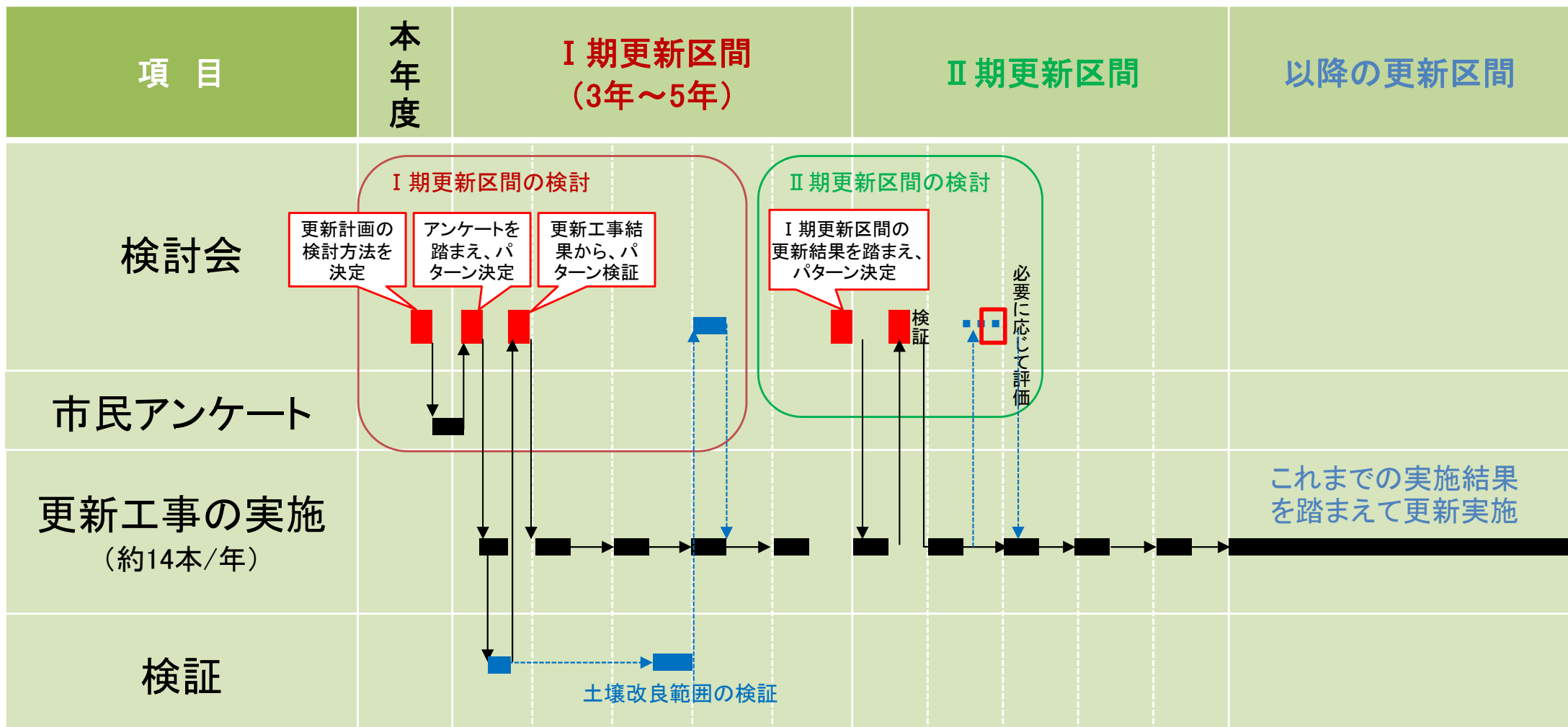
更新(植替え)工事の実施と検証

※土壌改良範囲の必要範囲も検証 <P23参照>

II 期更新区間の更新パターンの検討 ※検証結果も反映し段階的に検討

〈更新パターン決定のながれ〉

- 手順1. I 期更新区間の更新パターンに関する市民アンケートを実施。
- 手順2. アンケート結果を踏まえ、I 期更新区間における更新パターンを決定。
- 手順3. I 期更新区間において更新工事を実施し、更新パターンを検証。
- ※土壌改良の必要範囲も検証。
- 手順4. 検証結果を受け、その後の更新区間の検討に反映(継続的に評価・改善)。



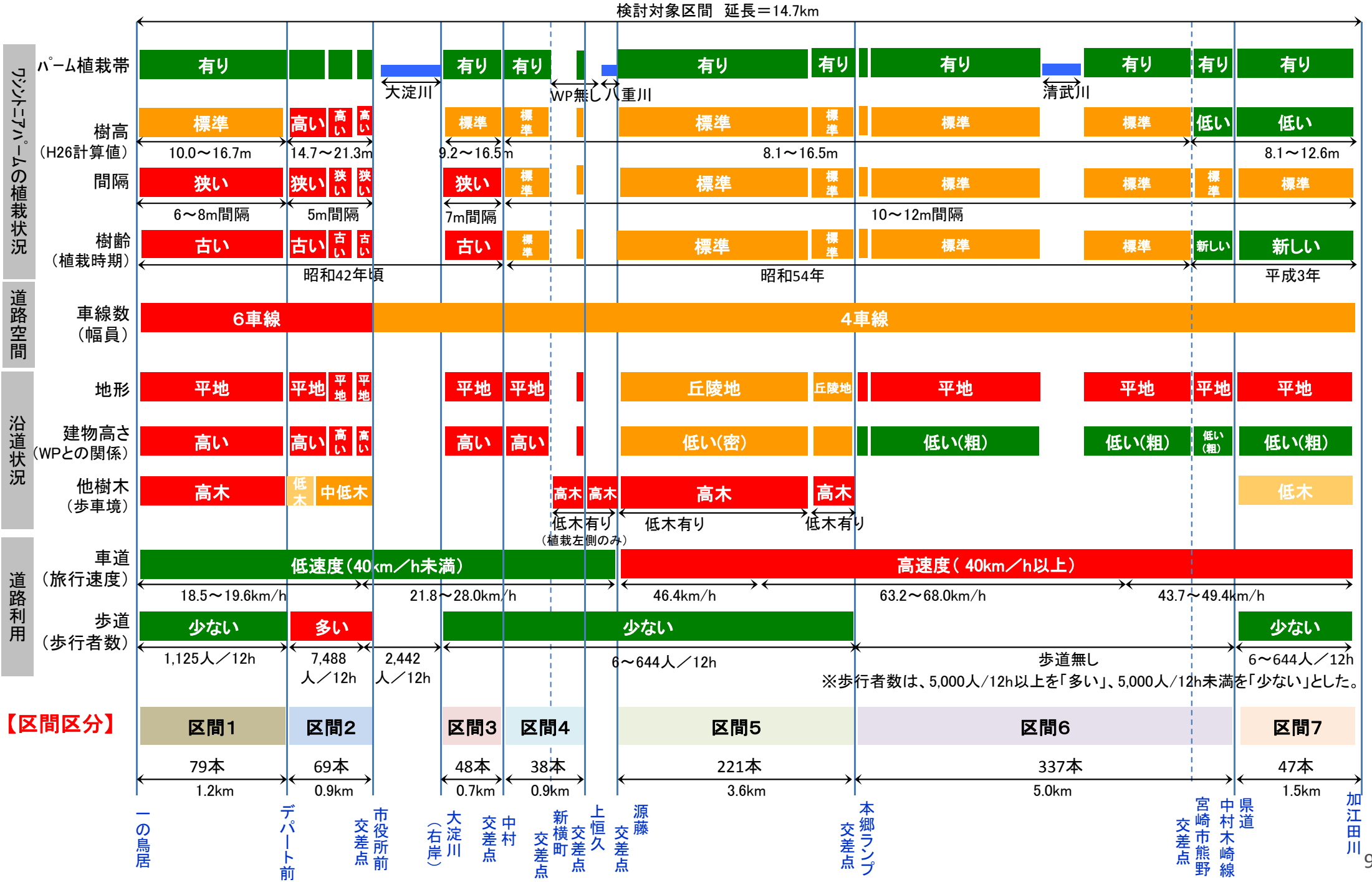
3.2. 周辺景観を考慮した区間の区分

(1) 区間の区分に関する要素・項目

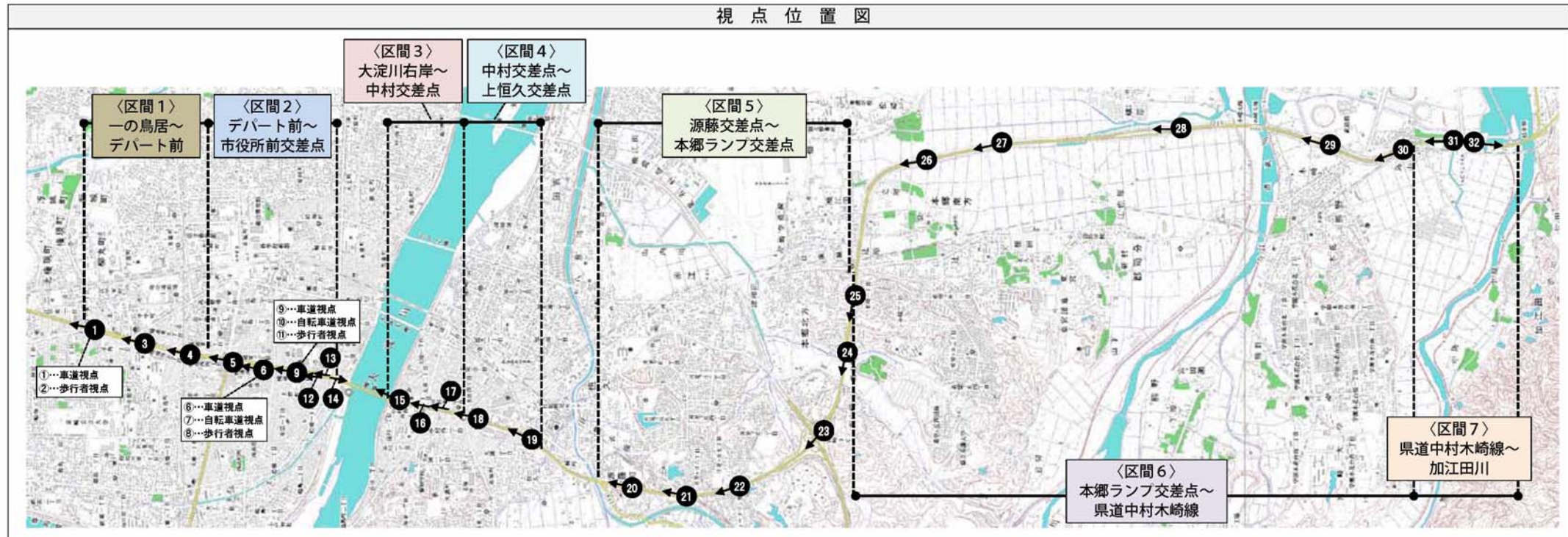
要素	項目	細分
1. ワシントンニアパームの植栽状況	パーム植栽帯	①有り・②無し
	樹高	①高い・②標準・③低い
	間隔	①狭い・②標準
	樹齢(植栽時期)	①古い(S42年)・②標準(S54年)・③新しい(H3年)
2. 道路空間 (空間の広がり)	車線数(幅員) ※道路内空間の広がり	①6車線・②4車線
3. 沿道状況	地形	①平地・②丘陵地
	建物高さ(WPとの関係)	①高い・②低い(密)・③低い(疎)
	他樹木(歩車境)	①高木・②低木・③なし
4. 道路利用 (視点特性からの区分)	車道(旅行速度)	①高速度・②低速度
	歩道(歩行者数)	①多い・②少ない

(2) 区間の区分の検討結果

⇒区間1～区間7の7つのゾーンに区分された。



(3) 区間毎の代表写真



〈区間2〉
デパート前～
市役所前交差点

- ・ 植栽間隔は特に狭い。
- ・ パームより高い建物が連担。
- ・ 歩車境に中低木植栽。
- ・ アーケード区間。
- ・ 人通り多い。

5



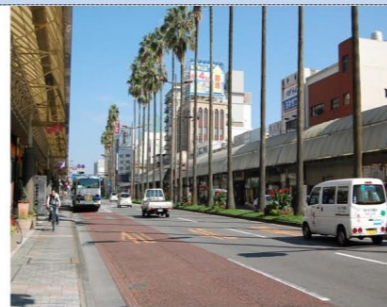
6

(車道視点)



7

(自転車道視点)



8

(歩行者視点)



9

(車道視点)



10

(自転車道視点)

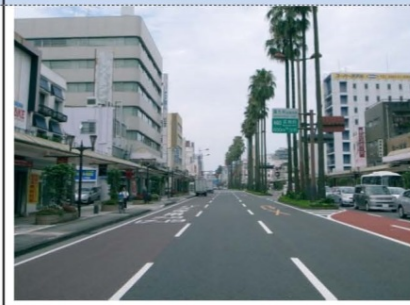


11

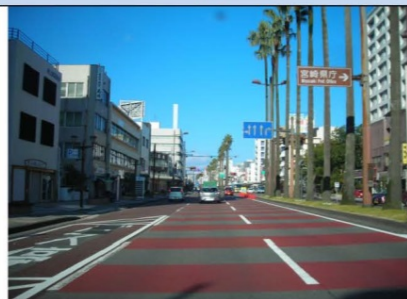
(歩行者視点)



12



13



14



〈区間3〉 大淀川右岸～ 中村交差点 ・ 植栽間隔は狭い。 ・ パームより高い建物が連担。 ・ 歩車境に植栽なし。	15		16		17	
	〈区間4〉 中村交差点～ 上恒久交差点 ・ 植栽間隔は標準。 ・ パームより高い建物が存在。 ・ 歩車境に一部高木植栽。	18		19		
〈区間5〉 源藤交差点～ 本郷ランプ交差点 ・ 丘陵地 ・ 植栽間隔は標準。 ・ パームより低い建物が広がる。 ・ 歩車境に高木植栽。		20		21		22
		24		25		23

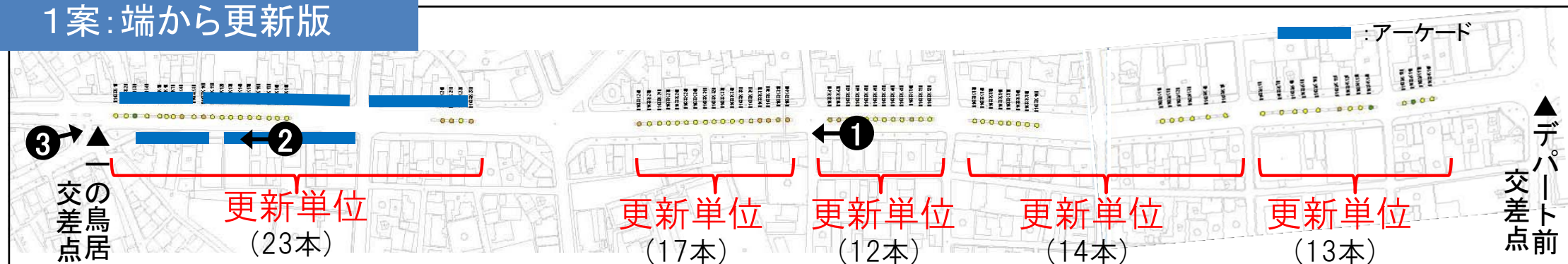
〈区間6〉 本郷ランプ交差点～ 県道中村木崎線 ・ 植栽間隔は標準。 ・ 沿道に農地が広がる。 ・ 歩車境に植栽なし。	26		27		28		29	
	30							
〈区間7〉 県道中村木崎線～ 加江田川 ・ 植栽間隔は標準。 ・ パームより低い建物が散在。 ・ 歩車境に低木植栽。	31		32					

3.3. I 期更新区間の特徴と更新パターンの検討

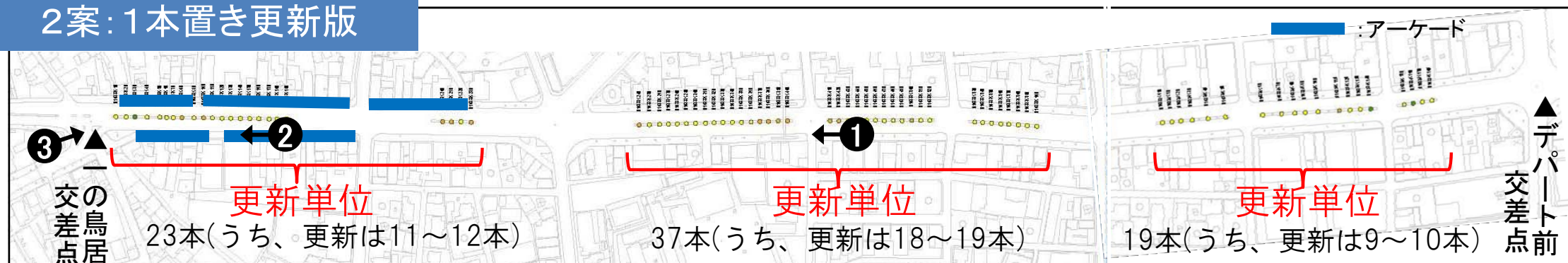
(1) I 期更新区間の植栽計画(案)

●周辺景観による区間区分の検討の結果、I 期更新区間は「一の鳥居～デパート前」(区間1)となる。

1 案: 端から更新版



2 案: 1本置き更新版



現況写真



(2) 区間1の特徴: 一の鳥居交差点～デパート前

要素	特徴	更新の検討方針
①ワシントニアパームの植栽状況 (植栽帯・樹高・間隔)	・交差点で植栽帯が8ブロックに分割 ・樹高は標準的(10m～16.7m) ・間隔は狭い(6～8m)	○建物や高木によってパームの高さ(指標機能)に加え、まとまり感(景観統合機能)が求められる。  [検討方針] 更新パターンは、「端から更新」と「1本置き更新」の2案について、CGにより比較し検討する。 ●CGによる更新パターンの比較 ・車道視点 ・歩道視点(アーケード区間) ・NHKカメラ視点
②道路空間 (車線数)	・車道(6車線:幅員24.0m) ・自転車通行空間(幅員1.5m) ・歩道(幅員4.5m、一部アーケード区間あり)	
③沿道状況 (地形・建物高さ・他樹木)	・平坦な地形 ・中心市街地。 ・高い建物が連担 ・一部アーケード区間あり ・歩道境に高木植栽	
④道路利用 (見られ方)	・平均旅行速度20km/h以下 ・歩行者:比較的少ない(1,125人/12h)	

(3)CGによる更新パターンの比較

①車道視点

	Step1 第1弾更新(植替え)時	Step2 第2弾更新(植替え)時	Step3 将来時
第1案…端から更新	 更新木 1年目	 2年目	 概ね30年目
第2案…1本置き更新	 1弾目の更新木 1年目	 1弾目の更新木 2弾目の更新木 概ね30年目	 1弾目の更新木 2弾目の更新木 概ね60年目

※フォトモンタージュは、仮に起点側(一の鳥居交差点)から更新した場合で作成

②歩道視点(アーケード区間) ※約100mのアーケード区間があるため、歩道視点を補足作成

	Step1 第1弾更新(植替え)時	Step2 第2弾更新(植替え)時	Step3 将来時
第1案…端から更新	 更新木 1年目	 2年目	 概ね30年目
第2案…1本置き更新	 1弾目の更新木 1年目	 1弾目の更新木 2弾目の更新木 概ね30年目	 1弾目の更新木 2弾目の更新木 概ね60年目

※フォトモンタージュは、仮に起点側(一の鳥居交差点)から更新した場合で作成

③NHKカメラ視点

Step1 第1弾更新(植替え)時

Step2 第2弾更新(植替え)時

Step3 将来時

第1案…端から更新



第2案…1本置き更新



※フォトモンタージュは、仮に起点側(一の鳥居交差点)から更新した場合で作成

3.4. アンケートに係る検討

(1) アンケートの目的

I 期更新区間の更新パターン決定の参考とするため、沿道住民等の意見収集を行う。

(2) アンケートの実施方針

〈意見聴取の対象区間〉 I 期更新区間

〈時期〉 次回検討会までに実施

〈内容〉 更新(植替え)パターン(「端から」「1本置き」)の印象を把握。

・『更新直後の景観変化に伴う影響の程度』について把握。

・『総論として各案に対する感じ方』について把握。

※各案の特徴(メリット・デメリット)を提示した上で意見を伺う。

〈実施方法〉 更新パターン別のCGを見て頂き、下記の手法で市民の意見を伺う。

手 法		対象者	概 要
対面	路上聞き取り	宮崎市民	人の集まる場所で聞き取り形式でアンケート調査。
紙	配布式アンケート	沿道住民	自治会協力により対象者にアンケート用紙を配布・回収。
	置き式アンケート	宮崎市民	人の集まる場所にアンケート用紙を設置。 その場で記入。回収BOXで回収。
電子	HPアンケート	一般	宮崎河川国道事務所HPにアンケートを掲載。

路上聞き取りの具体的計画

◎方法:調査員が市民や観光客等に対し、**対面式**で意向を聞き取る。

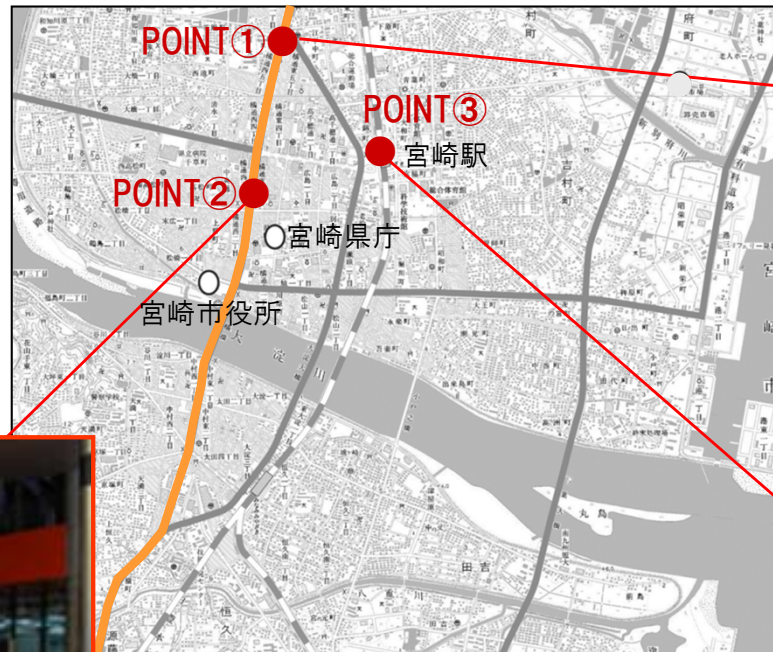
※更新(植替え)パターンについて、「1本置き更新」及び「端から更新」の2パターンのフォトモンタージュを提示し、回答いただく。

◎場所:3箇所(I期更新区間の路上、アートセンター付近の路上、JR宮崎駅の待合所付近)

◎目標回答数:**400人**



【聞き取り状況のイメージ】



① I期更新区間



②みやざきアートセンター前



③JR宮崎駅

配布式・置き式・HPによるアンケートの具体的計画

①配布式アンケート

◎方法:自治会協力により対象者にアンケート用紙を配布・回収。

◎場所:一の鳥居～デパート前区間の沿道自治会住民を対象

②置き式アンケート

◎方法:人の集まる場所にアンケート用紙を設置し、その場で記入したものを回収BOXで回収。

◎場所:4箇所(みやざきアートセンター、宮崎市役所、国土交通省 宮崎河川国道事務所・宮崎維持出張所)

③HPアンケート

◎方法:宮崎河川国道事務所HPにアンケートを掲載。

配布式アンケートイメージ



←説明リーフレット



↑アンケート用紙

置き式アンケートイメージ



①みやざきアートセンター

②宮崎市役所(本庁舎)



回収BOX

アクリル製

幅:25cm

奥行き:18cm

高さ:25cm

HPアンケートイメージ



(3) アンケートの内容

- ①説明リーフレット(更新の必要性・目的の説明、更新パターンの説明、対象区間の位置・写真)
- ②質問・回答用紙

[質問内容]

●「更新直後の景観変化に伴う影響の程度」を質問

A案: 植替え直後に高さがすべて低くなることについてどう思いますか？

B案: 植替え直後に更新「する木」と「しない木」の高さに違いがでますがどう思いますか？

●「総論として各案に対する感じ方」を質問

A案: 植替え直後～将来の予測図及び特徴を見て、A案での植替えについてどう感じますか？

B案: 植替え直後～将来の予測図及び特徴を見て、B案での植替えについてどう感じますか？

●属性(性別、年齢、住まい(市内、県内、県外)、 パーム並木を見かける頻度)

アンケート用紙(案)

説明: あなた自身についてお答えください。

問1. 性別 ①男 ②女

問2. 年齢 ①19歳以下 ②20歳代 ③30~40歳代 ④50~60歳代 ⑤70歳以上

問3. 居住地 ①市街地 ②市街地以外 ③市街地以外(市街地内) ④市街地以外(市街地外)

問4. 国道10号・220号をよく通りますか? ①よく通る ②あまり通らない

A案: 端から更新案

・路から路端に順次で植え替える方法。

予測図(フォトモンタージュ)

図1 更新前(10mの高さ) 図2 更新後(10mの高さ) 図3 更新後(30年後) 図4 更新後(50年後)

〈A案の特徴〉

- 更新直後から高さが増える。
- 更新直後に高さが一気に低くなる(4m程度)。

質問①: 更新直後の予測図(図2)をみてお答えください。植替え直後に高さがすべて低くなることについてどう感じますか?

すごく低くなる 低くなる 低くなる 低くなる 低くなる

質問②: A案の植替え直後～将来の予測図(図2、図3)及び特徴をみてお答えください。A案についてどう感じますか?

すごくいい いい あまりいいくない 最悪

B案: 1本置き更新案

・1本置きに植替え、植替え後植替えを完了したのち、起点に戻り残った木を植え替える方法。

予測図(フォトモンタージュ)

図1 更新前(10mの高さ) 図2 更新後(10mの高さ) 図3 更新後(30年後) 図4 更新後(50年後)

〈B案の特徴〉

- 更新直後から高い木(10m以上)が残り、高さが維持される。
- 1本置きに高さの違いが生じる。

質問③: 更新直後の予測図(図2)をみてお答えください。植替え直後に更新「する木」と「しない木」の高さに違いがでますがどう感じますか?

すごく低くなる 低くなる 低くなる 低くなる 低くなる

質問④: B案の植替え直後～将来の予測図(図2、図3)及び特徴をみてお答えください。B案についてどう感じますか?

すごくいい いい あまりいいくない 最悪

ご協力いただき、誠にありがとうございます。国土交通省福岡県国土交通事務所

アンケート用紙のイメージ

(4) アンケートの評価

- I 期更新区間における更新パターン検討の参考資料として、アンケート結果を集計・整理し、次回検討会にて提示する。

3.5. 土壤改良範囲の検証

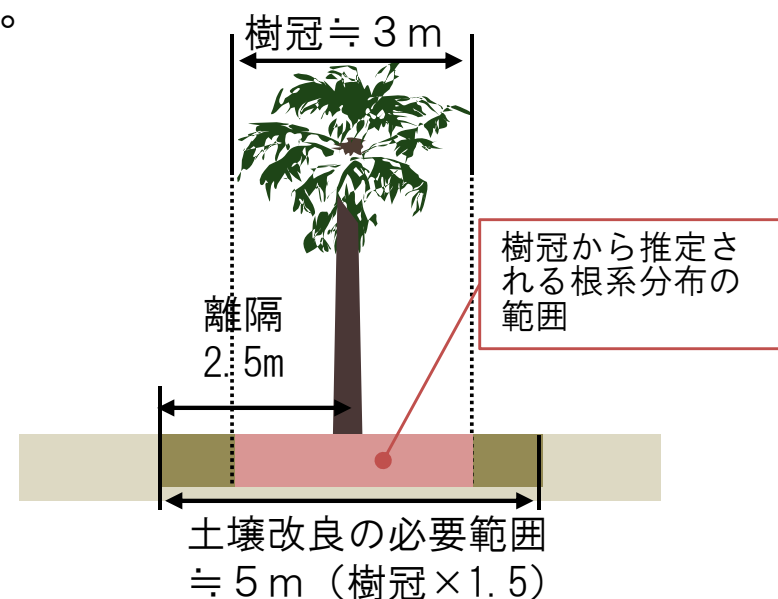
土壤改良(土壤交換)範囲が一部となるため、一般樹木を目安に検討した土壤改良の必要範囲について検証する。

(1) 土壤改良範囲の検討結果

【土壤改良の必要範囲(水平方向)の推定】

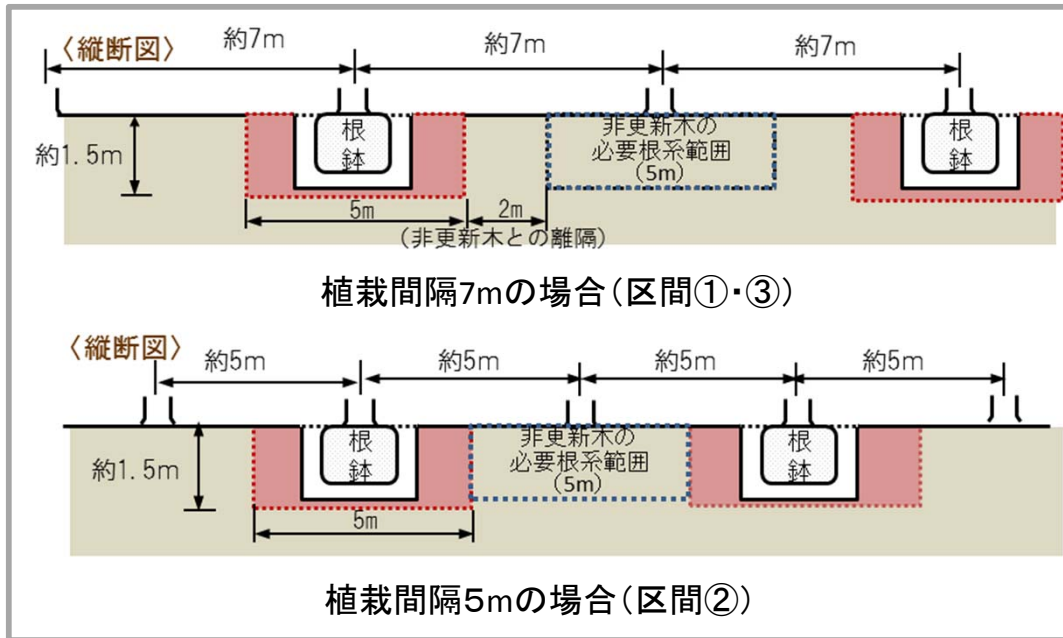
- ・ 樹木の水平方向の根系分布は「樹冠の広がり」が目安となる。
[枝葉の広がり $\div$ 根系の広がり]
- ・ ワシントニアパームの樹冠は直径約 3 m。
- ・ 植栽基盤の改良は、樹種ごとの根系分布に応じて施工されるが、水平方向に浅く根を伸ばすタイプ(浅根型)の樹種の場合は、根系分布の1.5倍の範囲を対象に行うことが一般的。

◆ 一般的な植栽基盤の改良範囲 (水平方向)
= 樹冠 : 直径約 3 m $\times$ 1.5 $\div$ 5 m

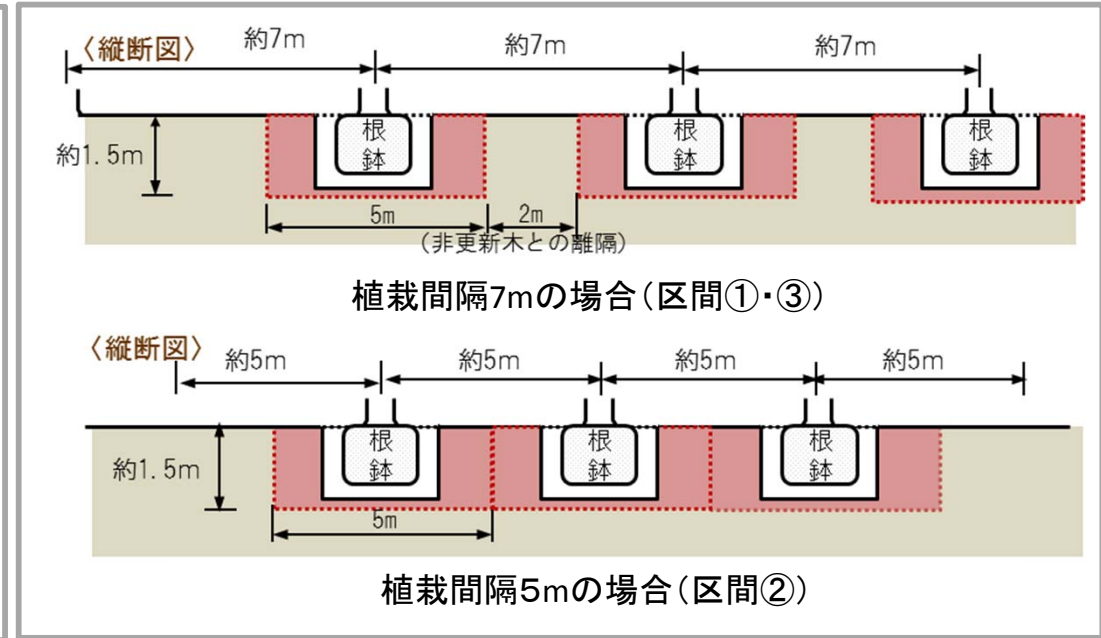


引用：国総研資料第621号「沖縄における都市緑化樹木の台風被害対策の手引き」

●1本置きパターンの土壌改良



●端から更新の土壌改良



(2) 土壌改良範囲の検証

①目的 **土壌改良の必要範囲(水平方向)を検証**する。

②実施方針

〈施工区間〉 I 期更新区間

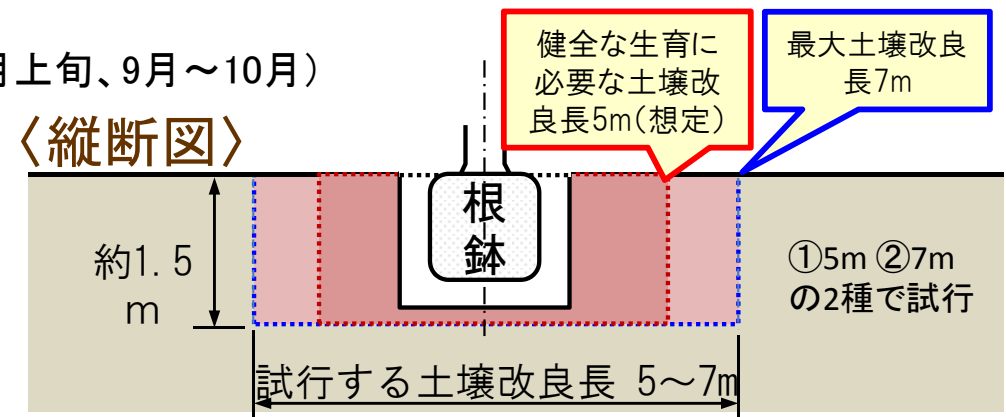
〈施工時期〉 ワシントンアパームの移植に適した時期(3月～7月上旬、9月～10月)

〈検証内容〉 更新木の樹勢、既存木の樹勢への影響を検証。

③検証する土壌改良範囲の考え方

◎文献から想定される土壌改良長 ⇒ 5m

◎試行範囲は、5m及び7mの2種を設定



4. 苗木の調達方法

1) 圃場整備の基本方針

◎更新数量(14本/年)に枯死してしまうことを考慮した数:**20本/年を圃場で育成**する。

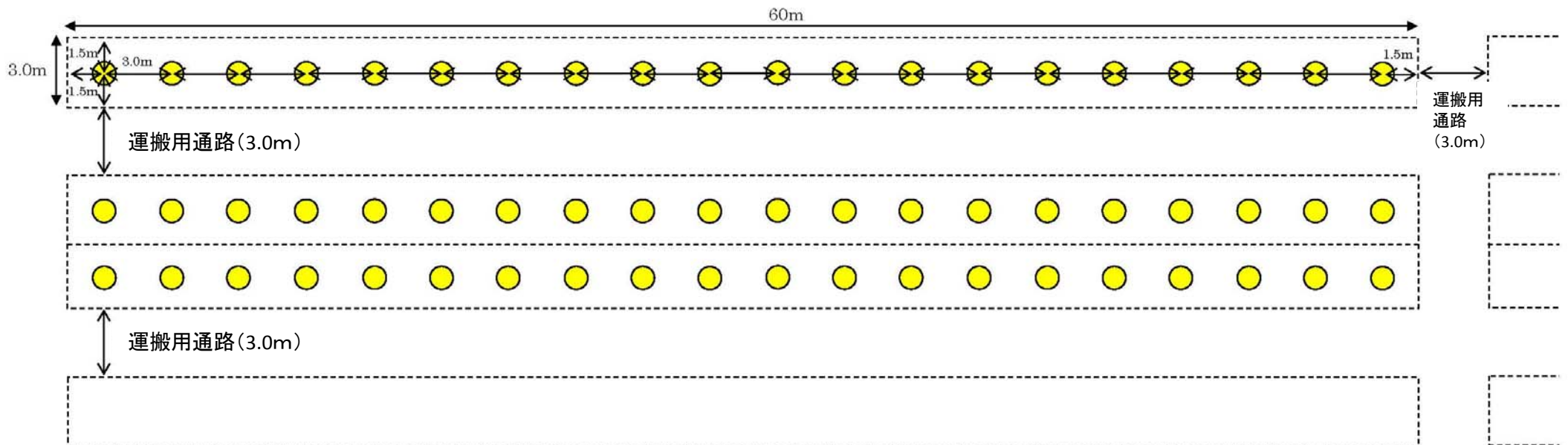
◎樹高4mに達する育苗期間は15年。

継続して圃場より苗木を調達できるように、**20本/年 × 15年 = 300本**を育成する。

◎育成スペースは掘り取りに必要な**植栽間隔3m**を確保し**列植**を基本とする。

◎**運搬用通路(幅3m)**を確保する。

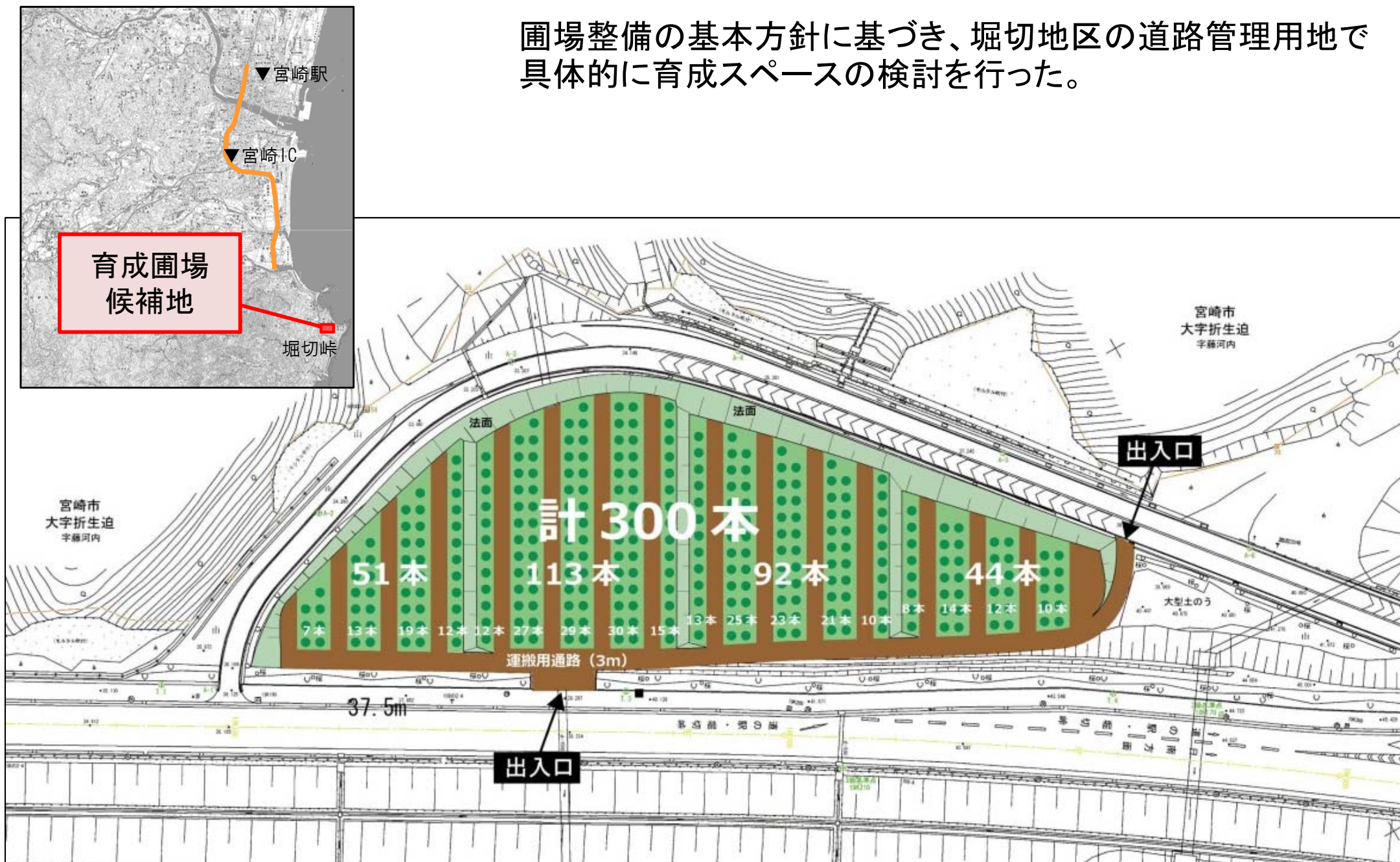
【育成スペースのイメージ】



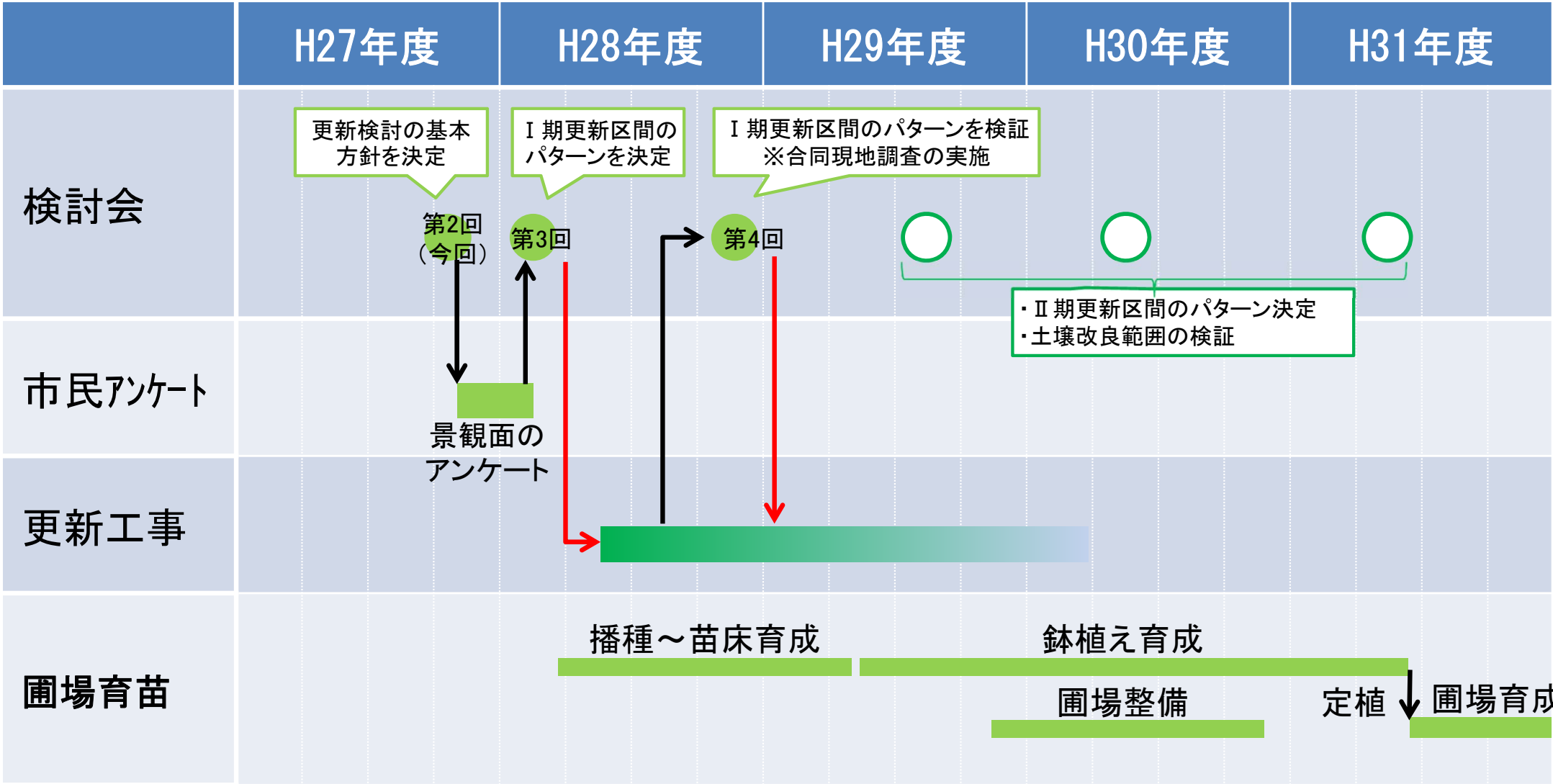
※圃場造成の際は、水はけを良くするように配慮する。

2) 堀切地区圃場(予定)

圃場整備の基本方針に基づき、堀切地区の道路管理用地で具体的に育成スペースの検討を行った。

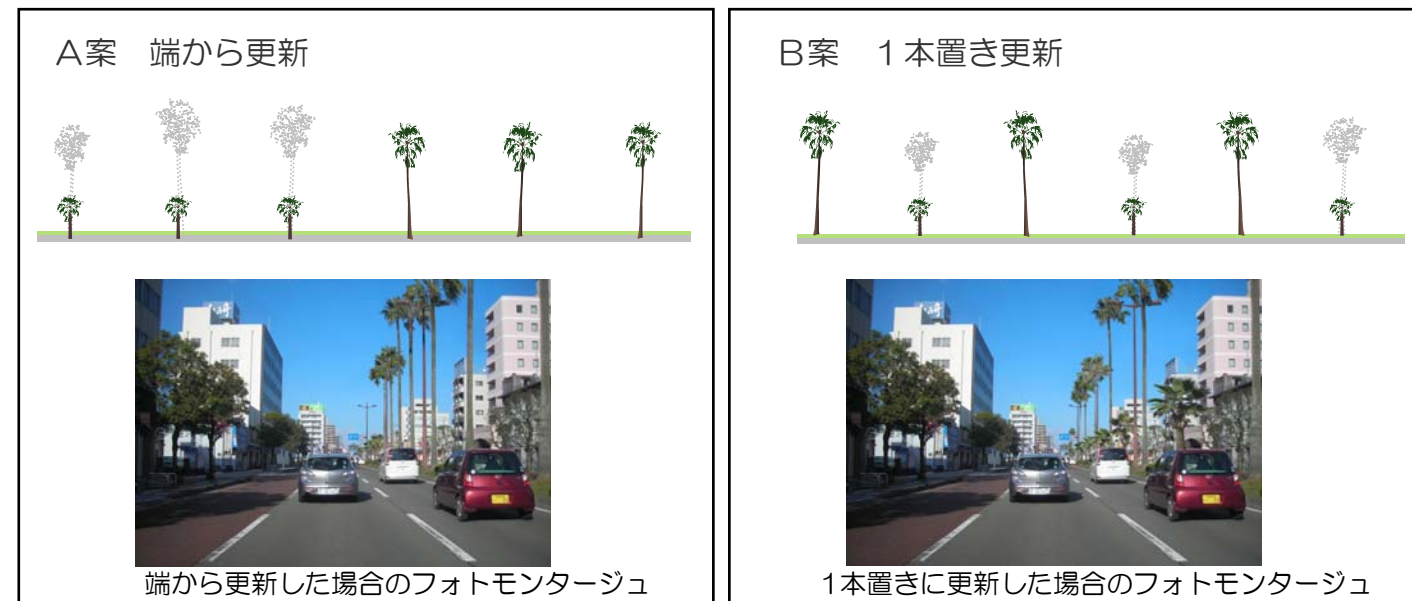


5. 今後のスケジュール



皆さまのご意見を募集しています

現在、更新パターンについては、「A案 端から更新」と「B案 1本置き更新」の2案を候補とし、一の鳥居～デパート前の区間から順次検討を進めていく予定としています。これについて、あなたのご意見をお聞かせください。



なお、意見聴取の方法として、以下のとおりインターネットによるアンケートと紙によるアンケートを用意しております。今後のより良いワシントニアパームの管理の在り方を検討する際の貴重な参考情報といたしますので、ご協力をお願いします。

■方法①:インターネットのアンケート

国土交通省宮崎河川国道事務所 (<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>)「宮崎河国」や「宮崎河川国道」で検索するとヒットします。右のバナーをクリックし、アンケートに進んでください。



■方法②:紙のアンケート

つぎの場所にアンケート用紙があります。用紙に記入して、併設の回収箱に投函してください。

場 所	住 所
宮崎市役所 本庁舎 1 階エレベータ前	宮崎市橘通西 1 丁目 1 番 1 号
みやざきアートセンター (3 階)	宮崎市橘通西 3 丁目 3 番 27 号 アートセンタービル 3 階
国土交通省 宮崎河川国道事務所	宮崎市大工 2 丁目 39
国土交通省 宮崎維持出張所	宮崎市大字島之内 7180-1

募集期間：平成 28 年 3 月 ● 日 (●) まで

【問合せ先】

国土交通省 宮崎河川国道事務所 道路管理第二課
〒880-8523 宮崎市大工 2 丁目 39 番地 TEL:0985-24-8512 (道路管理第二課直通)

【作成 2016.2】

ワシントニアパームのある風景

皆さまのご意見をお聞かせください。

資料 4 - 1



南国宮崎を演出するワシントニアパーム

宮崎は、昭和 30 年代～40 年代には新婚旅行のメッカとして全国から多くの観光客が訪れるようになりました。

宮崎の観光事業を引っ張ってきた岩切章太郎氏（宮崎交通(株)初代社長）は、世界各地の観光地をめぐり、それらをヒントにフェニックスやワシントニアパームを宮崎の道路に植え、南国イメージづくりに力をそそぎました。はじめて宮崎の道路にワシントニアパームが植えられたのは、岩切氏による南宮崎駅前～旧宮崎交通(株)本社前とされています。



写真提供：宮交ホールディングス(株)



ワシントニアパームを植えたばかりの南宮崎駅前の様子
写真出典：宮崎・日南・串間今昔写真帖（郷土出版社）

宮崎の動脈となっている国道 10 号や 220 号にも、中央分離帯にワシントニアパームが植えられました。植えた当時は、高さ 3m～4m 程度だったものが、高いものでは 15～20m まで成長しています。



中村交差点付近(昭和 54 年) (平成 24 年)



月見が丘付近(昭和 54 年) (平成 24 年)

◆ワシントニアパームの管理について

○台風や風の強い日には、枯れ枝が道路に落ちてきて、道路を通る車などに損傷を与えてしまうことがあります。（右の写真参照）

○このような事故をまねかないように、古い枝を切り落とす落下防止作業を行っています。

○枯れ枝落下防止作業は、中央分離帯側の車線を規制し、高所作業車を用いて行っています。枯れ枝の除去作業などを終えた後、伸ばしたクレーンをいったん縮めて隣の場所に少しずつ移動させながらの作業になります。また、特に交通量の多い国道では、枯れ枝落下防止ベルトをつけているため、装置の脱着にも手間がかかっています。



高所作業車での作業状況



人力で枯れ枝を切断・除去



枯れ枝落下防止ベルトの設置

○高所作業車が1車線の規制幅の中で剪定作業が可能な高さは32mまでです。
○年間の成長量を考慮すると、ワシントニアパームが樹高 32mに達するのは植栽後おおよそ70年と考えられます。

$(\text{樹高 } 32\text{m} - \text{植栽時 } 4\text{m}) \div \text{年最大成長量 } 0.4\text{m}$
≒ 植栽後 おおよそ70年が限界

○現在、高さが20m以上に達するほど成長しているものもあり、今後、ワシントニアパームの成長により、維持管理作業も大変になってきます。



高所作業車の作業限界高
(1車線規制で32m)

◆ワシントニアパームの生態について

○国道10号・220号のワシントニアパームは、古いもので昭和40年代に植栽されており、植栽後50年近くが経っています。

○ワシントニアパームの寿命は正確には分かりませんが、80年くらいと考えられています。

○植栽された時の樹高から当時の樹齢を15年と仮定すると、植栽後おおよそ65年で寿命に達すると考えられます。



立ち枯れの例

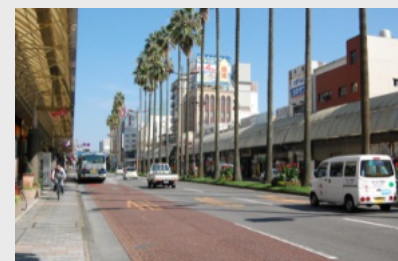


台風による倒木の例

植栽時の樹齢を15年と仮定すると、
植栽後 おおよそ65年で寿命

◆ワシントニアパームの景観的価値について

○ワシントニアパームの景観的特徴としては、「高さ」と「姿」が挙げられ、現在の並木の「ある程度の高さ」「群としてのまとまり」が宮崎の道路景観を印象的にしています。



橘通西3丁目付近



南方付近

- このまま現在の管理を続けた場合、ワシントニアパームの成長に伴い、1車線規制での管理ができなくなるとともに一斉に倒木するリスクもあります。
- 一方、更新計画がないまま倒木リスクが高まった木から更新（植え替え）した場合、更新箇所がまばらになってしまい、ワシントニアパームの特徴である「ある程度の高さ」と「群としてのまとまり」が失われ、景観的価値が損なわれる可能性があります。
- これらのことから、今後も景観的価値を維持しつつ、安全な管理を行っていくためには、計画的な更新（植え替え）が必要です。

◆具体的な更新計画の策定について

○宮崎河川国道事務所では、国道10号、220号の中央分離帯のワシントニアパームについて、宮崎らしい景観の維持・継承のため、持続可能な更新計画の検討を行っているところです。

○平成24年度には、「国道10号・220号の植栽と景観に関する検討会」を設置し、『維持管理方針』を策定しました。

維持管理方針

1. ワシントニアパームのある景観を残す。
2. 概ね30～60年サイクルで新しいワシントニアパーム（若い木）に順次植え替えて、持続可能な管理を行っていく。

○さらに、平成27年度からは有識者・関係行政機関で構成した「宮崎ワシントニアパーム維持管理検討会」を設置し、具体的な更新（植替え）計画について検討を進めています。

宮崎ワシントニアパーム維持管理検討会

検討会では、『維持管理方針』を踏まえ、

- ①ワシントニアパームのある道路景観を維持しつつ、
- ②地域資源としてのワシントニアパーム並木を次世代へつなぎ、地域の活性化に貢献することを目的に、持続可能な更新（植替え）計画を策定します。

【主な検討項目】

- ・更新（植替え）の順序の検討
- ・更新（植替え）パターンの検討
- ・苗木の調達方法の検討
- ・地域との協働による更新（植替え）方法の検討
- ・既存木の活用方法の検討



アンケート用紙（案）

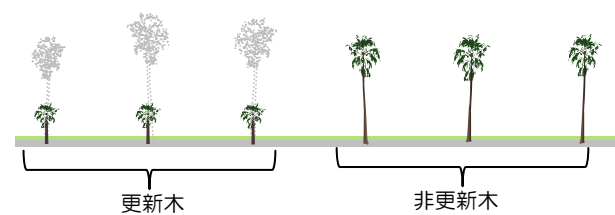
『一の鳥居～デパート前』のワシントニアパームの更新（植替え）は、「A案 端から更新」と「B案 1本置き更新」の2案で検討を進めています。

以下に示す各案の写真と特徴を見ていただき、各案の問いについて、あなたのご意見をお聞かせください。



A案：端から更新案

・端から連続して、新しい木に植え替える方法です。



予測図（フォトモンタージュ）



〈A案の特徴〉

- ・更新直後から高さが揃う。
- ・更新直後に高さが一斉に低くなる（4m程度）。

質問①：植替え直後の予測図（図2）をみてお答えください。
植替え直後に高さがすべて低くなることについてどう思いますか？

☐ すごく違和感がある
 ☐ すこし違和感がある
 ☐ 特に気にならない
 ☐ 良い

質問②：A案の植替え直後～将来の予測図（図2、図3）及び特徴をみてお答えください。
A案での植替えについてどう感じますか？

☐ すごく良い
 ☐ 良い
 ☐ あまり良くない
 ☐ 良くない

質問：あなた自身についてお聞かせください。

問1. 性別 ①男 ②女

問2. 年齢 ①19歳以下 ②20歳代 ③30～40歳代 ④50～60歳代 ⑤70歳以上

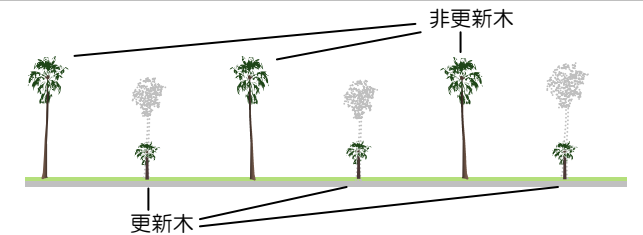
問3. 居住地 ①宮崎市内 ②宮崎市以外の宮崎県内 ③県外（県名： ）

問4. 国道10号・220号のワシントニアパームはよく見かけますか？

①よく見かける ②あまり見かけない

B案：1本置き更新案

・1本置きに、新しい木に植え替える方法です。



予測図（フォトモンタージュ）



〈B案の特徴〉

- ・更新直後から高い木（10m以上）が残り、高さが維持される。
- ・1本置きに高さの違いが生じる。

質問③：植替え直後の予測図（図4）をみてお答えください。
植替え直後に更新「する木」と「しない木」の高さに違いがでますがどう思いますか？

☐ すごく違和感がある
 ☐ すこし違和感がある
 ☐ 特に気にならない
 ☐ 良い

質問④：B案の植替え直後～将来の予測図（図4、図5）及び特徴をみてお答えください。
B案での植替えについてどう感じますか？

☐ すごく良い
 ☐ 良い
 ☐ あまり良くない
 ☐ 良くない

記入例（○のつけ方）

☒ すごく違和感がある
 ☐ すこし違和感がある
 ☐ 特に気にならない
 ☐ 良い

ご協力いただき、まことにありがとうございました。 国土交通省宮崎河川国道事務所